

平成29年度
筑波大学法科大学院
[ビジネス科学研究科法曹専攻]
(専門職学位課程) 法学未修者コース 入学試験

論文試験問題

(120分)

受験番号	氏 名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が表紙と余白頁を除いて10頁であること、答案用紙が2枚【1枚目：問Ⅰ（設問1）、問Ⅰ（設問2）及び問Ⅰ（設問3）、2枚目：問Ⅱ】あることを確認してください。
- 4) 試験開始後、2枚の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができません。
- 6) 下書きは問題冊子の2頁及びその他の頁の余白、裏面を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

問Ⅰ 下記の文を読んで、各設問に答えなさい。(注：法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点50点)

(設問1)

なぜ筆者は、犯罪の動機と結果との因果に懐疑的なのでしょうか、筆者の主張を120字以内で説明しなさい。(12点)

(設問2)

筆者が、テレビ局がとるべき態度を下線のように主張する理由を120字以内で説明しなさい。(12点)

(設問3)

「性善説では教育は成り立ちえない」と主張する筆者の見解について説明するとともに、筆者の見解に対するあなたの考えを、併せて260字以内で述べなさい。(26点)

著作権法により公開していません。

〔問Ⅰの文〕

出典：日垣隆『世間のウソ』(新潮社、2005年)84頁～97頁

(出題者注)

出題に際して、見出し及び文章の一部を省略し、漢数字を算用数字に変えている箇所がある。
出題者が文章を省略した箇所は、〈中略〉と表示している。

問Ⅱ 下記の文を読んで、次の設問に答えなさい。(注：法律の専門知識を問うものではありません。)(配点50点)

(設問)

丸山真男は、「である」論理あるいは「である」価値に基づいた組織が、「する」論理あるいは「する」価値のとめどない浸透によって揺さぶられることに対して批判的な姿勢を示している。現在の日本における「である」論理あるいは「である」価値に基づいた組織を取りまく状況を踏まえながら、この組織の意義について、あなたの考えを500字以内で述べなさい。

著作権法により公開していません。

〔問Ⅱの文〕

出典：丸山真男『日本の思想』(岩波書店、1961年) 170頁～176頁、192頁～198頁

(出題者注)

出題に際して、見出し及び文章の一部を省略し、漢数字を算用数字に変えている箇所がある。出題者が文章を省略した箇所は、〈中略〉と表示している。